

報道関係者各位

お水取り見学前にぴったりのイベント！**東大寺長老 森本公誠師の法話と
一夜限りのスペシャルフレンチ「なら七草フランセーズ」****「奈良^{きわ}を究める」****【日時】2016年3月2日（水） 講演 15:00~16:00 食事 16:15~17:30**

奈良ホテル（奈良市高畑町1096 代表取締役社長：五十嵐 晃）は、東大寺長老・森本公誠師のご法話と七草をあしらった特別フレンチコース料理をお楽しみいただくイベント「奈良を究める」を開催いたします。

2004年から2007年まで第218世東大寺別当・華嚴宗管長を務め、現在は東大寺長老である森本公誠師の「お水取り」についてのご法話を拝聴。ご自信がお水取りに参籠された経験からのお話で、外からは垣間見ることのできないお水取りの様子をうかがい知ることができます。講演後は日本人が古くから気枯れ（穢れ：けがれ）を祓うために食してきたといわれる春の七草を取り入れた一夜限りのスペシャルフレンチ“なら七草フランセーズ”をお楽しみいただけます。

「奈良を究める」の概要は、次の通りです。

「奈良を究める」概要

- 日時：平成28年3月2日（水） 講演 15:00~16:00 食事 16:15~17:30
- 場所：奈良ホテル宴会場
- 講師：東大寺長老 森本公誠師
- 料理： **一夜限りのフレンチディナー <なら七草フランセーズ>**
 - ・サヨリとラングスティーンのデュエット《ハコベラ》とともに
 - ・オマール海老のビスクスープ《スズナ》添え
 - ・鯛の《スズナ》蒸し バルサミコ風味の赤ワインソース
 - ・シャーベット
 - ・国産牛フィレ肉のステーキ《芹》入りポテトガレットと《スズシロ》のグラッセとともに
 - ・デザート ・コーヒー

※仕入状況によりメニュー内容を変更する場合がございます。

- 料金：12,000円（サービス料・税金込）
- お問合せ・お申し込み 奈良ホテル 0742-26-3300（代表） 0742-24-3033（宴会承り課）

□ お水取りとは

東大寺修二会は、天平勝宝4年(752年)、東大寺開山良弁僧正の高弟・実忠和尚(じっちゅうかしょう)によってはじめられ、1250年以上もの間一度も欠けることなく続けられてきた不退の行です。もとは旧暦の2月1日から行われていたことから、二月に修する法会という意味を込めて「修二会」と呼ばれるようになりました。

行中の3月12日深夜(13日の午前1時半頃)には、「お水取り」といって、若狭井という井戸から観音さまにお供えする「お香水(おこうずい)」を汲み上げる儀式が行われます。また、この行を勤める練行衆の道明かりとして、毎夜、大きな松明に火がともされ、参集した人々をわかせます。このことから、修二会は「お水取り」「お松明」とも呼ばれるようになりました。

「修二会」の法要は、正式には「十一面悔過」といい、十一面観世音菩薩を本尊として、「天下泰平」「五穀豊穰」「万民快樂」などを願って祈りを捧げ、人々に代わって懺悔の行を勤めるものです。3月1日から14日まで東大寺二月堂で修二会の本行が行われます。

奈良では昔から、「お水取り」が終われば春がやってくると言われ、春を呼ぶ行事として親しまれています。

以上

<奈良ホテルについて>

奈良公園内の小高い丘に建つ奈良ホテルは、明治42年の創業以来多くの賓客を迎えてきました。桃山御殿風檜造りの本館は辰野金吾氏の設計です。館内随所の調度品が明治の時を思い起こさせ、その雰囲気はまるで美術館に泊まるようです。100年以上の時を経てなお重厚華麗な姿を見せ続けるクラシックホテルで至福のひとときをお過ごしください。



SINCE 1909

【このリリースに関するお問合せ先】

(株)奈良ホテル 営業部営業企画課 小林・津川

〒630-8301 奈良市高畑町1096

TEL: 0742-24-1151 FAX: 0742-24-0255

MAIL kikaku@narahotel.co.jp